



おおづか

oozuka

通巻 118 号
令和 4(2022)年 9 月 4 日発行
毎月第 1 日曜日に発行します



暑い夏から秋へのバトンタッチ



自分なりの 秋を探して



食欲の秋、読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋…。色んな秋を堪能し、実りある日々を過ごしましょう。公民館の講座も充実していますので、様々な秋を楽しめますよ。さあ、これからどんな秋にしましょうか？

いきいきプラチナ大学

無理のない歩き方で 健康寿命を伸ばそう



いつまでもイキイキと健康に過ごし、そしていつまでもご自身の「足」で歩くために、正しい「歩き方」について学び、転倒予防につなげましょう。この講座で正しい姿勢・歩き方を再確認しませんか。

日 時◆①日程 9月24日(土) ②日程 10月1日(土)

いずれも午前 10 時～11 時半 ※お申込みの際に、希望日をお知らせください。

対象・定員◆概ね 65 歳以上 各日程いずれも 20 人(申込順)

講師◆さくら鍼灸院 鍼師・灸師 渡邊 政宏 さん

持ち物◆室内シューズ(無い方は、スニーカー等の裏を拭いてご持参ください。)、フェイスタオル、飲み物、ポイント手帳(ある方)、マスク ※動きやすい服でご参加ください。

申込◆9月4日(日)から電話か来館で

グループ体験会 大塚仏像の魅力を知る会

観光地を旅した場合、寺院を訪れる機会もありますね。そこには、ご本尊が祀られて、ご本尊以外の仏像も祀られている場合があります。優しい顔、怒った顔、手の仕草など、姿形表情は様々です。今回は、『歴史の散歩道 二葉の里 明星院』を訪ねます。

日 時◆10月16日(日) 午前 10 時～午後 3 時

集合場所◆大塚公民館(公共交通機関等で移動します。【実費負担】)

対象・定員◆どなたでも 10 人(申込順)

参加費◆500 円(お布施)※ご住職のお話を聞く予定です。

持ち物◆健康保険証、飲み物、マスク

申込◆9月4日(日)から、電話か来館で



佐伯区石内金剛院

西区浄信院の火渡り

普通救命講習会

普通救命講習会を開催します。



日 時◆(第 1 回)9 月 17 日(土) 午後 1 時～4 時

(第 2 回)10 月 30 日(日)午前 9 時～正午

対象◆本年度防災士に受講希望の方で、普通救命講習を受けたことが無い方、

若しくは受講後 3 年以上経過している方

定員◆各回 30 人(申込順)

持ち物◆マスク

申込◆9月4日(日)から、

各回開催日の 10 日前までに電話か来館で

共催◆大塚・伴南学区社会福祉協議会



グループ体験会 そば打ち同好会 そば打ちをやってみよう!

豊平流そば打ちを体験してみませんか。

日 時◆10月5日(日)

午後 12 時半～2 時半

対象・定員◆どなたでも 6 人(申込順)

講師◆豊平流そば打ち道場

日野 忠克さん、関口 浩彦さん

参加費◆2,300 円/人(二八そば 700g 使用)

持ち物◆手拭い、エプロン、三角巾、マスク、

持ち帰り用タッパーウェア(A3 サイズ 1 個、

または A4 サイズ 2 個)、キッチンペーパー

10 枚程度(そば包装用)

申込◆9月17日(土)までに、電話か来館で



展示

大塚ミニギャラリー

9月4日(日)～9月30日(金)まで
サンフレッチェ広島を応援しよう!

ぶちあつ! サンフレッチェ広島展

エディオンスタジアムでぶちあつ応援!

★ルヴァンカップ

9/25(日)17:00 vs アビスパ福岡

★J1 リーグ

10/1(土)15:00 vs 浦和レッズ

10/29(土)15:00 vs 北海道コンサドーレ札幌

おおづか街歩き

続・大塚村十二景(4)

大塚村の秋の気配



秋の風物詩として親しまれ、「キーキーキチキチキチ」と声高に鳴く野鳥とは? 答えは本文で!
(写真提供:野鳥写真家 上霜英夫さん)

暑い夏にも秋は静かにたたずみ、その気配を忍ばせています。幕末期に活躍した大塚村の俳人白池庵木居(小谷雄右衛門)も、様々な観察から秋の気配を感じ取り、俳句日記に記しています。

【植物の様子から】

「朝々や 草うつ向て 秋近き」

私訳: 最近朝露(あさつゆ)が降り始め、庭や野の草も、その重みで傾いている

「枝かるむ 柳の色や 秋ちかき」

私訳: 青々とした柳の葉は黄色に姿を変えつつ、やがて散りゆく秋はすぐそこ

【自然現象から】

「宵々や 秋に隣し 稲光り」

私訳: 最近毎夜、稲光りが見られて、稲の実る秋が、今年もやって来る
※補足:「稲光」は稲の実る9月に多く見られる自然現象で、これが多い年は豊作になると信じられていました。

「常見えぬ 星も見られて 秋近」

私訳: 雲が少なくなり澄んだ夜空には、秋の星がはっきりと見え始めている

【鳥の声から】

「聞慣ぬ 鳥の声して 今朝秋」

私訳: 秋に高鳴きし始める百舌鳥(もず)の声が、今朝、聞こえたようだ
(写真参照)

※補足:「もずの高鳴き」として有名です。

やがて秋も深まると、木居の観察は、儚く消え行く虫の声にも注がれます。「今日明日の 命や声や 秋の蟬」

(参考:宮尾敬三編『白池庵木居 延命録』昭和61(1986)年3月ほか)